



# IBJ\* 防除情報 第80号

(\*Ishihara Bioscience Japan=石原バイオサイエンスの略)

ご説明  
します

## 今月の特集



### ① 灰色かび病

#### 灰色かび病とは…

灰色かび病は、*Botrytis cinerea*という糸状菌による植物の病害です。野菜、草花、果樹など多くの植物に感染し、蕾、花、果実、葉、茎など地上部の大部分に発生します。最初は水がしみたような淡褐色の病斑ができ、病斑が拡大するとそこが枯れ、やがて腐敗して灰色ないし灰褐色のカビに覆われます。花卉では白色、褐色などの小さな斑点が多数発生し、やがて花全体が枯れ、そこに灰色のカビが密生します。

#### どんなときに発生する？

灰色かび病は多湿で比較的冷涼（20～25℃）の環境を好むため、春先から梅雨にかけての時期と、秋から初冬にかけての時期によく発生します。また、枯れた花や果実、弱った植物が感染しやすく、葉が茂って風通しが悪いと、灰色かび病を誘発する原因となります。

#### 発生させないためには…

水はけと風通しのよい環境を作ることが、大切です。水はけをよくするため、株を植える場所を高く盛って高畝をつくって水が外へ流れるようにし、茂りすぎた葉や枝は、間引くことで風通しをよくします。また、枯れた花や葉をこまめに取り除き、水は株元から与えて多湿を防ぐことが重要になります。その他、草花の場合は、窒素が少なく、カリウムの多い液体肥料を葉の表面に吹きかけましょう。菌がカリウムの多い植物を好まないため、予防ができます。気象条件から、発生しやすい環境になることが予想される場合、予防的に薬剤を散布することも重要です。

#### 発生したらどうする？

一度灰色かび病にかかった部分は回復しないため、すぐに切り取って処分します。発生初期であれば、その後薬剤を散布して被害を食い止めます。しかし、病気が全体に広がった場合は、株ごと処分するしかありません。

### 様々な農作物に被害を及ぼす灰色かび病菌



いんげんまめ 莢



いちご 果実



きゅうり 幼果

## ②菌核病

### 菌核病とは…

菌核病は、*Sclerotinia sclerotiorum*という糸状菌による植物の病害です。30科100種類以上の非常に多くの植物に感染します。主に、地際の茎に発生し、褐色～黒色に変色、その後菌糸が多数発生し、最終的に植物を腐敗・枯死させます。菌核病という名前のとおり、大きさ5mm程度の黒色の菌核をつくり越冬し、長期間土の中に残り続けます。感染時期になると、子のう盤（きのこ）をつくり、胞子を飛ばして植物に感染します。また、菌核から伸びた菌糸により感染する場合があります。

### どんなときに発生する？

灰色かび病と同様、多湿で冷涼（15～20℃）の環境を好むため、春先から梅雨にかけての時期と、秋から初冬にかけての時期によく発生します。主に茎に発生しますが、きゅうりやナスでは実にも発生します。

### 発生させないためには…

灰色かび病と同様、水はけと風通しのよい環境を作ることが大切です。また、土壌中に長期間生存するため、発生地での連作をさけたり、田畑輪換や夏季の湛水処理で菌核を死滅させることで発生を防ぐことができます。

### 発生したらどうする？

発病株は菌核が形成されないうちに早期に抜き取り、処分します。健全な株への拡大を防ぐため、薬剤を散布し、被害の拡大を防ぎます。

## 早期に発見し、被害の拡大を防止しましょう！

こんなきのこ生えてませんか？



子のう盤の形成

茎に感染し菌糸を形成



ばれいしょ

結球に感染し腐敗



キャベツ

外葉に感染



キャベツ



いんげんまめ

# 弊社新規殺菌剤のご紹介

2017年11月20日登録認可（2018年春 発売予定）

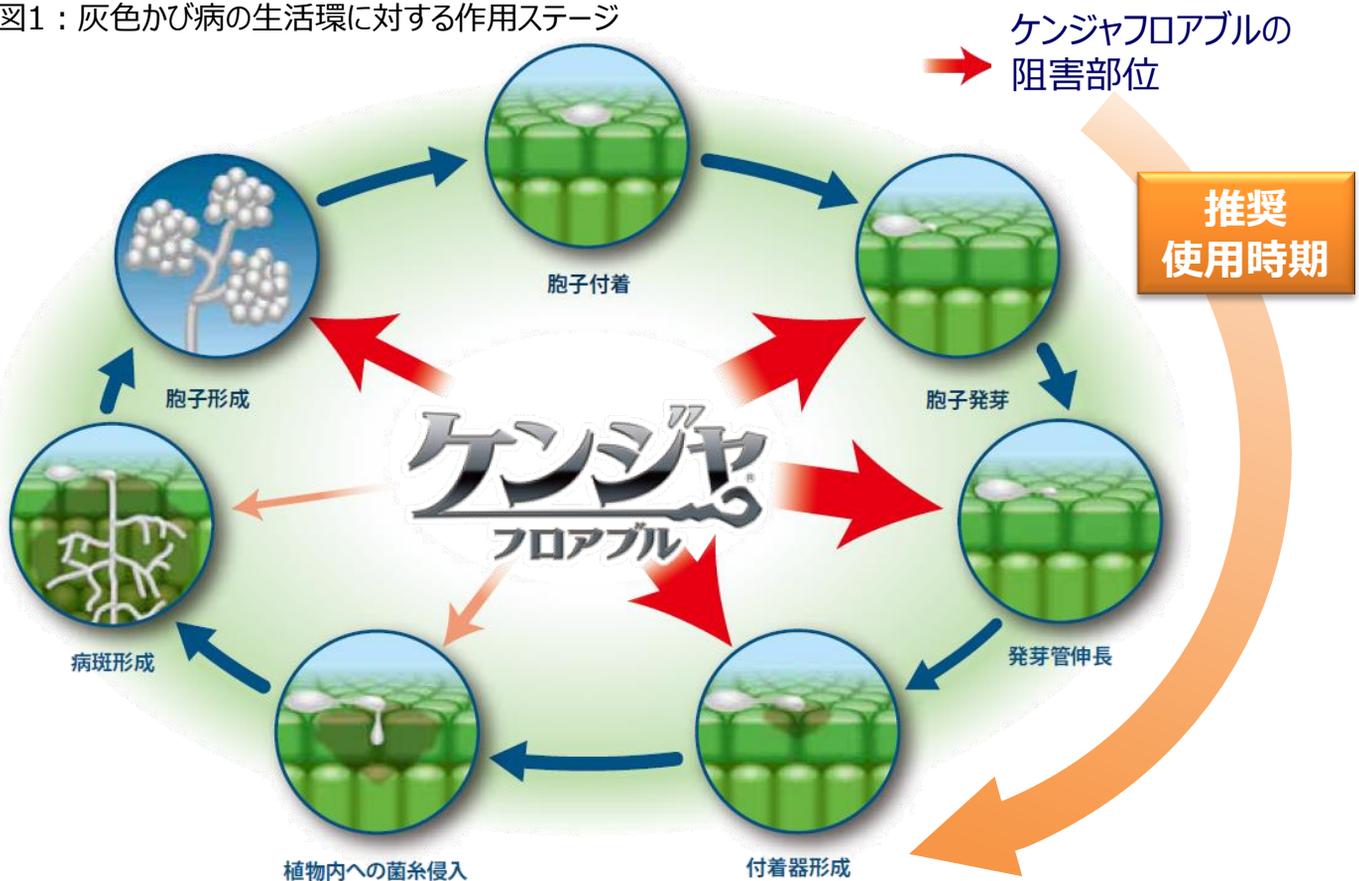
灰色かび病・菌核病に 賢い選択・賢く防除

## ケンシヤ<sup>®</sup>フロアブル

### ケンジャフロアブルの特長

- ◆ 灰色かび病・菌核病を中心とした子のう菌類や不完全菌類に対し高い殺菌活性を示します。
- ◆ 病原菌の生活環の複数のステージに作用します。
  - ▶ 胞子発芽、発芽管伸長、付着器形成、分生子形成の感染に関わるステージを阻害 ※図1参照
- ◆ 優れた作用特性を有します。
  - ▶ 優れた予防効果、処理後速やかな浸達性、残効性
  - ▶ 次世代の菌密度低減効果
- ◆ 既存薬剤の感受性が低下した菌に対しても有効です。

図1：灰色かび病の生活環に対する作用ステージ



# 登録内容：適用作物と使用方法

※本内容は、平成29年11月20日付の登録内容に基づいています。

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期	使用方法	総使用回数*
ぶどう	黒とう病 灰色かび病	1,500倍	200～ 700 ℓ	収穫7日前 まで	散布	3回以内
豆類 (種実、ただし、 らっかせいを 除く)	菌核病 灰色かび病			収穫14日前 まで		2回以内
さやえんどう	灰色かび病			収穫前日 まで		4回以内
きゅうり	菌核病	1,000～ 1,500倍	100～ 300 ℓ	収穫3日前 まで		3回以内
たまねぎ	灰色かび病					
レタス 非結球レタス	菌核病	1,500倍		収穫14日前 まで		

\*印は本剤およびイソフェタミドを含む農薬の総使用回数を示しています。





## いまどきの防除

(病害虫の発生予察と薬剤による防除対策)

- 農水省は、2月14日に向こう1ヶ月の主要病害虫発生予報を発表しました。その中から主な作物を対象に、発生が「多い」と発表された病害虫とその地域及び防除農薬(弊社の推奨農薬)を一表にまとめましたので、推進のご参考にして下さい。(特記以外の使用方法は希釈液散布)

作物名	病害虫名	地域	防除農薬(当社推奨農薬)	
野菜	いちご	南関東、東海、四国、九州	アカリタッチ乳剤	
	トマト	疫病	四国	ランマンフロアブル、ドーシャスフロアブル
		灰色かび病	東海	カリグリーン

### 用語概説(地域)

北東北：青森県、岩手県、秋田県 / 南東北：宮城県、山形県、福島県 / 北関東：茨城県、栃木県、群馬県  
 南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 / 北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県  
 南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

## 石原の農薬登録情報



- 2018年2月1日～2月23日までの間に登録された弊社の新農薬(適用拡大を含む)は、ございません。引き続き、弊社製品にご愛顧を賜りたく、宜しく願い致します。

弊社では、圃場の土壌を御送付頂き、その土壌中のセンチウ量を測定し、防除計画の御参考にして頂く無料サービスを継続実施しております。

**ISK** 石原バイオサイエンス株式会社 本社 開発普及部

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2

TEL 03-6256-9170 FAX 03-3263-2078

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>



センチウ検定  
無料キャンペーン  
実施中